

大仙市アーカイブズ ニュースレター 第28号



大仙市マスコットキャラクター
まるびちゃん

令和7年度第1回大仙市アーカイブズ運営審議会を開催しました

大仙市の諸活動や歴史的事実の記録である公文書等を後世に伝え、市民の共有知資源として管理するための「大仙市公文書等の管理に関する条例」(案)について大仙市アーカイブズ運営審議会に諮問しました。

運営審議会は令和8年1月28日(水)に行い、諮問の結果、「妥当である」と答申をいただきました。

令和8年10月1日に施行予定となっています。



地域資料の生物被害対策～^{くんじょう}燻蒸編～



古文書などの地域資料は蔵や倉庫などから見つかることが多く、「チャタテ」「ゴキブリ」などの害虫やカビによる被害を受けていることがよく見られます。そこで色々な手段を用いてそれらを取り除きます。そのうちの1つが薬剤で虫やカビを駆除する「^{くんじょう}燻蒸」という方法です。令和6年度に大仙市アーカイブズでは燻蒸するための設備を館内に設置しました。

令和7年10月に仙北地域にある浜蔵から地域資料を搬入、1回目の燻蒸を実施。薬剤を入れて密封してから約4カ月経過した2月7日に取り出しました。

燻蒸した資料は、現在、公開に向けて整理しています。今後も随時、配架前に必要な資料の燻蒸を行っていきます。

令和7年度 公文書の評価選別結果

令和7年度の公文書の評価選別結果をお知らせします。

◆評価選別とは

保存期間が満了する公文書から、市の歴史を伝えるものや、市民の権利の証明など、残さなければならぬものを選別する作業を「評価選別」と呼びます。

評価選別により保存と判断された公文書は、大仙市アーカイブズ(公文書館)で、市民の共有財産として永久的に保存され、土地の権利確認や研究等への市民利用のほか、市役所の業務に利用されます。

評価選別結果(令和7年度)

対象冊数	8,528冊
保存	1,038冊
廃棄	7,220冊
移管割合	12.2%

閲覧申請数(令和7年度)

市民からの申請数	960点
行政からの申請数	432点

※2月末までの集計です。(3月分も含めた閲覧数は、6月にホームページ掲載予定の「大仙市アーカイブズ年報」をご覧ください。)

くずし字への第 1 歩!古文書解読講座の開催



▲第 1 回目の様子



▲第 2 回目の様子

くずし字に興味があっても 1 人で読むのは難しいと感じている方を対象に、初心者向けの古文書解読講座を 2 回行いました。実施に当たって、地域の古文書の会と連携して共催事業として行いました。

第 1 回は 1 月 21 日（水）に大曲図書館 3 階視聴覚室で行いました。講師には秋田大学教育文化学部講師の清水翔太郎先生を招いて、24 名が参加しました。江戸時代の年貢に関する古文書をテキストに、構成や数字のくずし方などの講義が行われました。

第 2 回は 3 月 12 日（木）に仙北ふれあい文化センターで行い、秋田県立公文書館の畑中先生に講師を行っていただきました。25 名が参加し、江戸時代の女性の知恵や教養がまとめられた「女重宝記」を読みました。

ひらがなが多く使われている本になっていて、当時の女性の髪形などをも同時に学びました。

アーカイブズ職員が選ぶ、頻出くずし字 6 選!

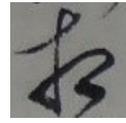
くずし字講座でも登場した、古文書によく見られる字をいくつか紹介します。



= 御



= 年



= 相



= 無



= 奉



= 本

いべんと瓦版
～令和 8 年度の展示予定～

企画展 昭和 100 年事業

「昭和の風景

— 木村伊兵衛・井上一郎二人展 — (仮)」

期間：令和 8 年 6 月～8 月頃

場所：大仙市アーカイブズ 展示室 2

木村伊兵衛と井上一郎の写真を中心に大仙市の昭和について展示を行います。



ホームページで、これまでの展示資料やニュースレター等も公開していますのでぜひご覧ください

